

# 認知症への対応は進行によって判断する必要があります

	MCI(軽度認知障害)	軽度	中程度	重度	
認知症の進行度	物忘れはあるが自立して生活できる	困りごとが出てくるが日常生活は自立している	誰かの見守りがあれば自立して生活できる	日常生活に手助けや介護が必要	常に介護が必要
本人の気づき(一例)	・日にちや時間がときどきわからなくなる	・約束を忘れてしまう ・物の置き場所がわからなくなる	・段取りのとおりに行動ができない ・やる気がでない	・外出すると近場でも道に迷う ・着替え 食事 トイレがうまくできない	・使い慣れた道具の使い方がわからない ・家族の顔がわからない
周りの気づき(一例)	・同じ質問を繰り返すことがある	・「物を盗まれた」などのトラブルが増える ・失敗を指摘すると急に怒り出す	・事実とは違うことを話し出す ・季節に合った服装ができていない	・目的地にたどり着けずウロウロしている	・会話が成立せず意思の疎通が難しい ・表情が乏しい
対応のポイント	・脳に刺激のある生活をする ・気になり始めたら、早めに病院や相談窓口へ相談をする	・今までどおりの日課や役割を維持できるように見守る ・本人の不安を和らげる	・安全対策を考える ・医療のサポートを受ける	・介護のサポートを受ける ・家族や近所など人の助けを借りて見守り体制を充実させる	・本人が安心できる環境づくり ・コミュニケーション方法の工夫

相談窓口	地域包括支援センター / 在宅介護支援センター			
	かかりつけ医 / 民生委員児童委員			
支援見守り	高齢福祉係 / 介護保険係 / 認知症専門医 / 認知症疾患医療センター / 岐阜県若年性認知症支援センター			
	精神保健福祉相談			
	陽だまり(認知症)カフェ			
介護保険施設	日常生活自立支援事業 / 緊急通報システム / 救急医療情報キット / 配食サービス			
	高齢者サロン	ほっとねっと / 認知症高齢者見守りシール / 成年後見制度 / 認知症初期集中支援チーム	日常生活用具給付事業	
介護保険施設	グループホーム(要支援2~) / 介護老人保健施設(要介護1~) / 特別養護老人ホーム(要介護3~)			



💡 MCI期には教室や講座に積極的に参加してみよう! 💡

- ・筋力トレーニング教室
- ・おいしく加味・噛み教室
- ・栄養改善調理実習
- ・介護予防出前講座
- ・認知症予防教室
- ・認知症サポーター養成講座 など

脳に刺激のある生活をするこ  
とで、MCIから悪化させず状態を  
維持したり、場合によっては認知  
症状が改善することもあります